

引数の2値を加算して結果を戻す関数を2つ作成してみましょう。

### 1. 値渡しのケース

#### ★メイン処理

- ・ 整数型 a=5
- ・ 整数型 b=8
- ・ 整数型 kekka=0

・ kekka = kasan(変数1,変数2) //値渡し

#### ★kasan関数 (戻り値あり、引数2つ)

- ・ 引数1と引数2を加算して、答えを return する。

### 2. 上記のプログラムを「参照渡し」で作ってみましょう。

(テキストP292参照)

### 3. 次のプログラムを作りなさい。

```
int x = 10000; //価格
int y = 2000; //値引額
```

関数 nebiki (値引計算をする関数) を使って、  
x の値が 8000 になるようなプログラムを作りましょう。  
なお、関数 nebiki は、**引数2つ、戻り値なし** とすること。

### 4. 次のプログラムを作りなさい。

```
int x = 10000;
int y = 20000;
```

関数 nebiki2 (値引計算をする関数) を使って、  
それぞれ2000円ずつ値引するプログラムを作りましょう。  
なお、関数 nebiki は、**引数2つ、戻り値なし** とすること。